

【史料叢書】				
史料館叢書』につくシリーズ。史料の作成 伝来にかかわる組織体の機能と史料管理の実態を明らかにし、アーカイブズ学の発達に寄与することを目的としている。全10巻。名著出版刊。				
巻	タイトル	刊行年月	判型・頁数	内容
1	近世の村・家・人	1997年3月	A5判400頁	村運営、小農家族の永続、個人のライフサイクルに着目し、それぞれの組織や単位のなかで作成された文書の代表的なものを収録。15か国、天正18年から明治4年にいたる時期を包含する。家別史料目次(別冊)がある。
2	松代藩庁と記録	1998年3月	A5判450頁	信濃国松代真田家(大名)文書の中の「国家老日記」の索引である日記線出3冊を収録。記載年代は延宝から嘉永にいたる。藩庁の職務分担の実態がわかる。地名、人名、寺社名、役職名の各索引を付す。
3	町村制の発足	1999年3月	A5判438頁	町村制施行に関する5点の史料(山梨、兵庫、岡山の3か村)を収録。国・県・郡の法規や命令による事務執行の実態を明らかにする。付録に、「市制町村制」全文、山梨県関係県令、訓令、内訓、戸長役場書類并器具目録、「市制町村制」各条項該当一覧がある。
4	戸長役場の史料	2000年3月	A5判396頁	埼玉県大麻生村(現熊谷市)の史料を中心に、戸長役場史料の引継と管理、戸長の職務を明らかにする。巻末に文書群別史料目次、戸長の職務別に文書名称を分類した索引を付す。
5	農民の日記	2001年3月	A5判417頁	武蔵国連光寺村(現多摩市)の名主富沢家当主の日記66冊のうち、安政7年から明治2年にいたる10冊を収録。庶民の生活史料として、天候や村内の動向、幕末の社会情勢とくに新撰組や農兵関係の動きがわかる。人名、連光寺村地名の各索引、富沢家日記関係地名図を付す。
6	幕府奏者番と情報管理	2003年3月	A5判369頁	常陸国土浦土屋家(大名)の史料より幕府奏者番に関わる2点の史料、職務のノウハウを蓄積するために記された日記(寛政10年6月～12月分)と職務マニュアルを収録。江戸城内の日常レベルの執務活動がわかる。奏者番一覧表、江戸城本丸表、中奥図を付す。
7	社寺明細帳の成立	2004年3月	A5判364頁	明治政府により全国的統一に作成された社寺明細帳(神社、寺院、仏堂の各明細帳と寺院仏堂宝物目録帳)の調製過程を明らかにする史料および実際の社寺明細帳の例を掲げる。公簿としての社寺明細帳の機能がわかる。付録に社寺明細帳関係法令、社寺明細帳道府県市郡別残存状況一覧表がある。
8	近世都市の組織体	2005年12月	A5判379頁	近世の都市において文書を蓄積する組織体のうち、三都の町人地を中心に、町、組合町、惣町、商家、仲間組織、武家屋敷にしばって各組織体の基本文書(組織規定、構成員把握、運営記録など)を収録。江戸の宗門人別帳の希少な一例である江戸新材木町(現中央区日本橋掘留町一丁目)人別帳全文を含む。
9	近世の裁判記録	刊行準備中		
10	文書記録の管理史料	刊行準備中		